

「甘楽地域観光振興に関する連携協定」を締結しました

つながる ひろがる 観光の実現へ

町は9月14日、めんたいパーク群馬、こんにやくパーク、群馬サファリパーク、上信電鉄、都市農村交流協会と観光振興に関する協定を締結しました。

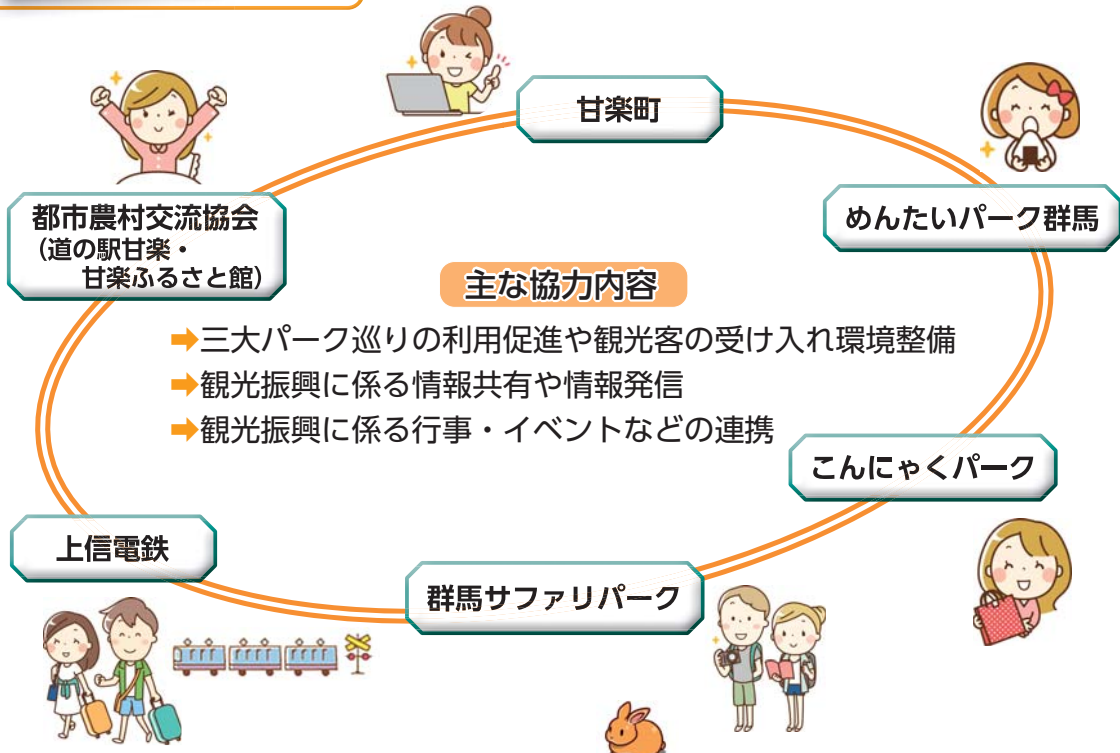
この協定に基づき、6者が相互に協力・連携し広域観光振興・情報共有・イベント開催などの事業に取り組み、発展的な観光地域づくりを目指します。

また、協定を軸に「地域の魅力」を最大限活用するため官民連携による取り組みを積極的に行い、今後は周遊観光を可能とするための交通手段なども検討してまいります。

第1弾企画 実施中

三大パーク巡りスタンプラリー

詳しくは、パンフレットをご覧ください。



6者で協定書に署名しました

産業課商工観光係 ☎(64)8320

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

■教育課学校教育係 ☎(64)8323

【令和4年4月19日実施】
小学6年生と中学3年生を対象に調査

(1) 平均正答率

■小学校 (%)			
	国語	算数	理科
甘楽町	62.0	60.0	58.0
群馬県	66.0	62.0	63.0
全国	65.6	63.2	63.3

■中学校 (%)			
	国語	数学	理科
甘楽町	68.0	56.0	51.0
群馬県	70.0	52.0	52.0
全国	69.0	51.4	49.3

(2) 児童・生徒への
質問紙調査の主な結果

- …肯定的回答の割合が全国より10%以上高い項目
- …肯定的回答の割合が全国より10%以上低い項目

小学校

- 学校に行くのは楽しいと思っている
- 難しいことでも、失敗を恐れないうで挑戦している
- 今住んでいる地域の行事に参加している

中学校

- ▲学校で学級の友だちと意見を交換する場面で、タブレットなどのICT機器を週3回以上使っている
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている(学校の授業の予習や復習を含む)

- 今住んでいる地域の行事に参加している
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある

- 学校で学級の生徒たちと意見を交換する場面で、タブレットなどのICT機器を週3回以上使っている
- 授業で自分の考えをまとめ発表する場面で、タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使っている

- 1・2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいた
- 1・2年生の時に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った

- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている
- 数学の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えている

- ▲理科の勉強が好きである

昨年度から本格導入した一人一台端末(タブレットPC)の活用について、小学校では調べたりまとめたりする場面での活用はなされてきているものの、意見交流の場面での活用がやや少ないことが分かりました。

中学校では、操作スキルの高まりと共に多くの場面効果的に活用するようになっていきます。

今年度、各小学校ではICT機器を活用した学習活動に力を入れており、その成果が期待されます。今回の結果を踏まえ、引き続き各学校において指導方法などの改善に取り組んでいきます。

また、質問紙調査の結果では、児童生徒の地域との関わりや地域への愛着の深さも表れています。

これからも甘楽町子どもたちの健康やかな成長のために、ご家庭や地域の皆さんのご協力をよろしくお願ひします。



令和4年度は、例年行われる国語、算数・数学に加え、理科についての調査も実施されました。甘楽町の場合、例年、小学6年生よりも中学3年生の方が平均正答率が高くなっており、今回も同様の結果が出ています。

小学校でさまざまな価値ある体験を積んだ子どもたちが、中学校で粘り強く学習に取り組みさらに成長していく様子がうかがえます。

甘楽町×ハルビン市 友好交流 30 周年記念 vol.3

連載 3 回目の今回は、子どもたちによる相互交流をご紹介します！

■ 問い合わせ 企画課企画調整係 ☎ 74-3133

相互派遣交流のあゆみ

ハルビン市と甘楽町の相互派遣交流は、1996(平成8)年に第1次ハルビン市中学生研修団が来町、1998(平成10)年に第1次甘楽町中学生国際交流研修団がハルビン市を訪問して以降、現在まで続く歴史ある交流事業です。



第1次ハルビン市中学生研修団



第1次甘楽町中学生国際交流研修団

これまでに、甘楽町からは第9次まで総勢116人の中学生がハルビン市を訪問し、ハルビン市からは第11次まで総勢156人の学生たちが甘楽町を訪れ、交流を深めてきました。

長い歴史の中には、社会情勢や大規模災害、近年では新型コロナウイルス感染症の流行により、派遣がかなわないこともありましたが、両市町が協力し助け合いながら交流が続いてきました。

ハルビン市訪問甘楽町中学生国際交流研修団の交流内容(一例)

事前研修

中国やハルビン市の概要、海外でのマナーや留意事項などを学習します。

ハルビン市って
どんなところ
だろう？



壮行会

出発を前に、研修団員がそれぞれの抱負を発表します。



激励を受ける研修団員

空港

国際線での出国審査や搭乗手続きなどを経験します。



手続きに向かう研修団員

ハルビン市の友人と交流

レクリエーションや文化体験などを両市町の学生と一緒に取り組みます。



協力しながら切り絵体験

文化交流は、
新しい価値観
や気づきが得
られて、学ぶ
ことも多いね



ハルビン市研修

異国文化が折衷するハルビン市の風土、文化や食事を体験します。



ロシア風建築が特徴的な
聖ソフィア教会を見学

北京市研修

史跡や施設などを見学し、海外の歴史や文化などを学びます。



世界遺産「八達嶺長城」
を見学

帰国報告会

研修での気づきや振り返りを共有し、次世代へつなぎます。



研修の感想を各々発表す
る団員たち